

今後の取組み

地下鉄8号線延伸の実現に向けて、検討を進めてまいります。

【課題と検討事項】

事業採算性

- 【事業採算性の算出】
 - 需要増、コスト削減の検討
- 【事業採算性の拡大要素】
 - 需要創出方策の検討
- 【沿線居住住民の拡大】
 - 鉄道沿線の居住地整備事例分析
- 【まちづくりによる賑わい向上】
 - 鉄道沿線のまちづくり事例分析
- 【工事費削減の工法・新技術】
 - 新工法の分析、事業費の算出

など

関係地方公共団体等との協調

- 【沿線自治体との調整】
 - 連絡体制の強化、的確な情報交換
- 【沿線自治体共催イベント】
 - 促進大会、PR活動での連携
- 【沿線自治体住民同士の連携】
 - 沿線住民、商工会議所メンバーとの交流
- 【各種イベントの継続・強化】
 - Aフェスタ(区民まつり)等PR活動の充実
- 【沿線自治体、住民代表による国や東京都への要請活動】
 - 住民、議会、自治体による要請活動

など

これまでの取組み

- 平成 5年 「足立区第三次基本計画」で地下鉄8号線区内延伸の誘致計画を位置付ける
- 平成 7・8年 「区東部地域の鉄道網整備に関する基礎調査」を実施
- 平成 8年 地元代表が東京都、運輸省へ陳情
- 平成 9年 地元代表が東京都、運輸大臣へ陳情（地域住民 約2万7千筆の署名を手渡す）
- 平成10年 「足立区公共交通整備基本計画」で、地下鉄8号線を優先整備路線に位置付ける
「地下鉄8号線整備促進大会」開催 ※以後、毎年度開催
- 平成11年 地元代表が運輸大臣、運輸省、東京都知事へ陳情
- 平成12年 「運輸政策審議会答申第18号」において、「A2路線」と位置付けられる
- 平成18年 足立区議会が国土交通大臣・東京都知事宛てに要望書提出
- 平成23年 「足立区総合交通計画」に地下鉄8号線整備促進を位置付ける
足立区議会「地下鉄8号線整備促進議員連盟」を発足
- 平成24年 「地下鉄8号線整備に向けた調査」を実施 ※以後、調査継続
- 平成26年 地下鉄8号線整備促進に向けた講演会の開催
沿線自治体合同で国土交通大臣、東京都知事へ要請活動
- 平成27年 沿線自治体合同で国土交通大臣へ要請活動
国土交通大臣に要請活動
地元代表が国土交通大臣に陳情（足立区住民 約5万4千筆の署名を手渡す）
- 平成28年 地下鉄8号線整備促進に向けた講演会の開催
交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」（第198号答申）において、「概ね15年後の東京圏の目指すべき姿を実現する上で意義のある路線」に位置付けられる

地下鉄8号線延伸の実現により、大きな社会的効果が期待されます。皆さまのご理解と、ご協力をお願いいたします。

お問合せ先



■ご質問、ご意見等につきましては、以下の担当までご連絡ください。
足立区 都市建設部 鉄道立体推進室
(電話)03-3880-5937 (FAX)03-3880-5615 (H30.4)

「美しいまち」は「安全なまち」



ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中
足立区

(再生紙を使用しています)



あだちの未来図に
線を一本
描いてみよう。

地下鉄8号線整備促進

足立区は地下鉄8号線延伸（豊洲～【足立区葛西用水親水水路】～野田市）の実現を目指した取組みを行っています。

答申での位置付け

【平成28年4月20日】

交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」（第198号答申）

地下鉄(東京)8号線は、「概ね15年後の東京圏の目指すべき姿を実現する上で意義のある路線」に位置付けられました。また、地域特性に合わせた、鉄道ネットワークプロジェクトについても定められました。

国際競争力の強化に資する 鉄道ネットワークのプロジェクト 【豊洲～住吉】

【意義】

国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部の観光拠点や東京圏東部・北部地域とのアクセス利便性の向上。

【課題】

事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方や事業主体の選定等について合意形成を進めるべき。

地域の成長に応じた鉄道ネットワークの 充実に資するプロジェクト 【押上～野田市】

【意義】

都区部北東部、埼玉県東部及び千葉県西北部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待。

【課題】

事業性に課題があり、複数の都県を跨がる路線であるため、関係地方公共団体等が協調して事業性の確保に必要な沿線開発の取組等を進めた上で、事業主体を含めた事業計画について十分な検討が行われることを期待。



野田市～押上

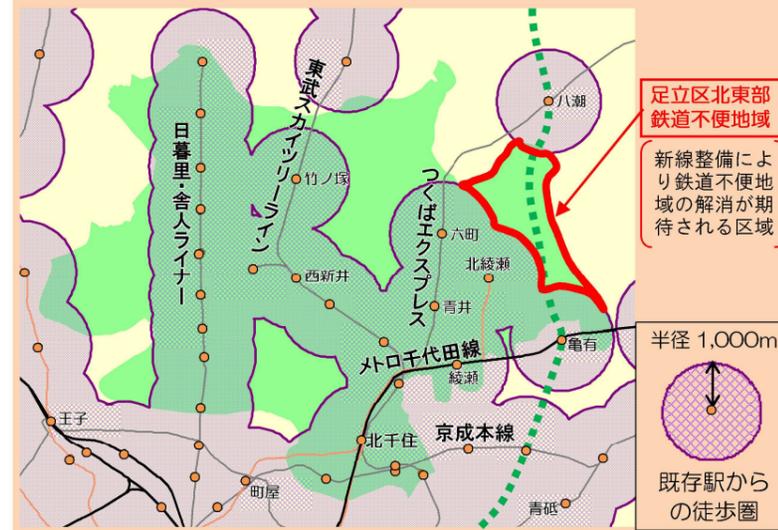
住吉～豊洲

～8号線沿線の状況～



期待される社会的効果

＜足立区とその周辺の鉄道駅からの徒歩圏＞



鉄道不便地域の解消

足立区東部に新線が通る計画になっています。新駅の設置によって、最寄駅までのアクセスが改善されます。

多様なルート確保

区内の鉄道路線の多くは、北千住駅に集中しています。新線を整備し、新たなルートを確認することで、輸送障害等の発生時におけるリスクを分散します。

まちの活性化

新駅の設置により、商業の活性化や駅周辺整備等によるマンションなどの住宅供給が進み、来訪者や居住人口の増加が見込まれ、まちづくりの進展が期待されます。

アクセスの向上

新たな鉄道交通軸が整備されることで、今までより早く、快適に目的地へ移動できます。

豊洲や臨海副都心、スカイツリーのある押上地区など、業務・商業・レジャーが活発で都市機能が充実している地域が身近となります。これにより、日常生活や通勤利用などの機能が充実することが期待されます。

＜亀有駅から各駅へのアクセスの向上＞

発駅	着駅		現在	新線 開業後
亀有駅	四ツ木駅	乗車時間	29分	6分
		乗換回数	2回	乗換なし
亀有駅	押上駅	乗車時間	27分	13分
		乗換回数	1回	乗換なし
亀有駅	豊洲駅	乗車時間	45分	27分
		乗換回数	1回	乗換なし

環境負荷の軽減

自動車利用から鉄道利用へ移動手段の転換により、道路混雑の緩和、排気ガス等による公害の抑制が期待できます。また、地下に鉄道を整備することで、葛西用水親水水路の美しい桜並木等の、景観を保全することができます。

周辺鉄道路線の混雑緩和

新線の整備により、周辺鉄道のラッシュ時の混雑状況は、現在より約10～35%の緩和が期待されています。

地下鉄8号線延伸によって、大きな社会的効果が期待できます！